

令和 3（2021）年大腸肛門病専門医試験出題問題  
2020 年・2021 年合同開催

各基本診療科共通問題

消化管手術前の静脈栄養管理下における長期絶食が与える影響について正しいのはどれか。

- a. 不整脈
- b. 心機能低下
- c. 腎機能低下
- d. 術後感染性合併症増加
- e. 術後単純性イレウス増加

正解： d

[解説]

d 「術後感染性合併症増加」が正解である。

静脈栄養を実施し、長期絶食による消化管の未使用によって腸粘膜が萎縮し、機械的なバリア機能の低下及び免疫学的なバリア機能の低下を招き、さらには全身の免疫能が低下する。臨床において、静脈栄養と経腸栄養の比較では、経腸栄養に比べ静脈栄養で管理された患者は感染性合併症の発生頻度が高いことが報告されている。

[出典]

Moore FA, Feliciano DV, Andrassy RJ, et al. Early enteral feeding compared with parenteral, reduces postoperative complication. The results of a meta-analysis. Ann Surg.1992; 216: 172-183.

Kudsk KA, Croce MA, Fabian TC, et al. Enteral vs parenteral feeding: effect on septic

専門問題：内科・放射線科・病理科・その他（I）

慢性便秘の原因薬剤について誤っているのはどれか。

- a. オピオイド
- b. 抗コリン薬
- c. 向精神病薬
- d. 抗パーキンソン病薬
- e. プロスタグランジン E2

正解： e

[解説]

プロスタグランジン E2 は子宮収縮薬であり、腸管運動も亢進するため、便秘ではなく下痢になる。便秘治療薬であるルビプロストンはプロスタグランジンの誘導体である。抗コリン薬、向精神病薬、オピオイド、抗パーキンソン病薬は慢性便秘症を起こす薬剤として、ガイドラインにも記載されている。

[出典]

日本消化器病学会関連研究会 慢性便秘の診断・治療研究会（編）. 慢性便秘症診療ガイドライン 2017. p33, 2017, 南江堂, 東京

### 専門問題：外科（Ⅱa）

StageⅡ 結腸癌の再発高リスク因子として誤っているのはどれか。

- a. 穿孔
- b. 脈管侵襲
- c. 低分化腺癌
- d. 郭清リンパ節個数 12 個未満
- e. 高頻度マイクロサテライト不安定性

正解： e

#### [解説]

高頻度マイクロサテライト不安定性を有する StageⅡ 結腸癌は予後良好であり、術後補助化学療法の効果は乏しい。他の 4 つは ESMO、ASCO ガイドラインで再発高リスク因子と規定されている。

#### [出典]

大腸癌治療ガイドライン医師用 2019 年版 金原出版株式会社

### 専門問題：肛門科（Ⅱb）

裂肛の三徴について誤っているのはどれか。2 つ選べ。

- a. 潰瘍
- b. 狭窄
- c. 皮下痔瘻
- d. 見張りいぼ
- e. 肛門ポリープ

正解： b, c

#### [解説]

a.d.e が 3 徴候である。

#### [出典]

肛門疾患診療ガイドライン 2014 年版 南江堂